

農作業特報

黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

育苗管理は、天候の変化に応じて適切な温度管理やかん水を徹底し、活力の高い苗に仕上げましょう。また、コシヒカリの田植えは5月15日を中心に行うとともに、植付本数や植付深さ、田植え後の水管理に注意し、初期分けつの発生を促しましょう。

1 育苗期後半の管理

- かん水は1日1回、早朝に行うのが基本です。夕方のかん水はハウス内の温度を下げるので避けましょう。ただし、葉が巻くほど乾いた場合は、適宜かん水して下さい。
- ハウス内の温度は20～25℃を目標に、こまめに換気しましょう。特に晴天の場合は、温度が急激に高くなるので注意して下さい。田植えの1週間前からは夜間もハウスのすそを開け、外気に慣らしましょう。
- 4月下旬以降の播種は気温が上昇し、苗が長くなりやすいので、夜間も外気温が10℃以上の場合は、ハウスを開けましょう。

2 代かき

- 代かきから田植えまでの日数が長いと、除草剤の散布前に雑草の生育が進んでしまうため、十分な除草効果が得られない場合があります。代かきは田植えの3～4日前に計画的に行いましょう。
- 少なめの水で代かきを行い、稲わらをしっかり鋤き込みましょう。また、代かき後の濁り水は水田外へ流さないようにして下さい。

3 苗箱施薬

一 般：Dr. オリゼフェルテラ粒剤
紋枯病対策：ルーチンエキスパート箱粒剤

使用時期：田植え3日前～当日

使用量：1箱当たり50g（20箱当たり1袋＝1kg）

使用方法：苗に付いた薬剤を払い落とす後、軽く散水する

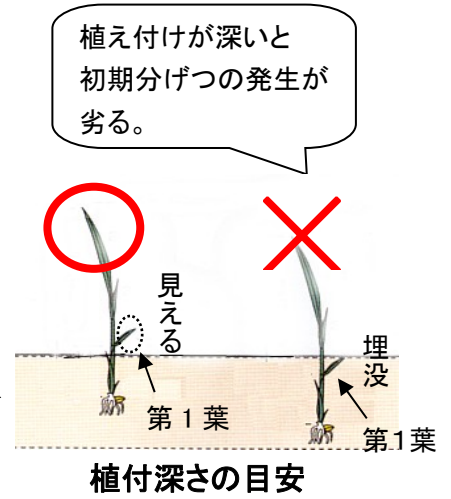
※ 水稻育苗後に、ハウス内で野菜などを栽培する場合は、ハウスから苗を搬出してから、苗箱施薬剤を施用しましょう。



4 田植え

- 田植時期（コシヒカリ）：平場 5月15日を中心
山手 5月10日頃から
- 植付株数：穂数を確実に確保するため、
「コシヒカリ」、「てんたかく」、
ともに70株植えを徹底する。
- 植付本数：3～4本/株
- 植付深さ：3cm程度
- 基肥：土壌条件に応じ適正な基肥量を厳守

第1葉は埋没させず、
見えるように植える



5 田植え後の水管理

- 田植え後は、苗が水没しない程度のやや深水にしましょう。低温や強風時もやや深水で苗を保護して下さい。
- 活着後は、日中止水、浅水管理で初期分けつの発生を促しましょう。

6 水田雑草防除

【効果的な除草剤の使い方】

- 代かきから田植えまでの期間は長くしない。
- 除草剤の散布は遅れずに計画的に行う。
- 田面が露出しないよう、5cm程度の深水状態で散布する。
- 除草剤散布後7日間は止め水とし、落水やかけ流しをしない。
- 田面の均平や畦畔からの漏水防止に留意し、除草効果を持続させるようにする。

農薬は使用基準を
守って使用し、栽培
履歴をしっかり記帳
しましょう！

【除草剤散布の目安】 ※印は「やまだわら」には使用不可

